










リードスペースメーカー挿入を受けられる

さんへ

	入院日 /	当日/治療前	当日/治療後	翌日～退院日
検査	採血 心電図 	午前 1件目 午後 1件目 2件目 3件目 ※順番は、状況により変更する場合があります。	胸部レントゲン 心電図 	治療翌日に採血・心電図・胸部レントゲンがあります。 退院までに担当者がペースメーカーチェックを行います。
安静度	制限はありません。 シャワーに入れます。 看護師が時間を調整します。 	車椅子で入室します。 	ベッドで病室に戻ります。治療後6時間はベッド上で絶対安静になります。起き上がりや膝を曲げたりは出来ません。 また、お腹に力を入れる行為（咳、いきんだりなど）は避けてください。 6時間後以降も医師の指示によりベッド上安静が必要な場合があります。 覚醒状況により安静が保てない場合は、身体拘束をすることがあります。	制限はありません。 シャワーに入れます。 看護師が時間を調整します。 
食事	治療食になります。 食べ物を持ち込むことは禁止です。	午前の方は朝食がありません。 午後の方は昼食がありません。 	治療終了後、食べやすい軽食を用意します。	食事は治療食になります。
治療	入院中も自宅と同じように内服します。 ※ただし、医師の指示で薬が中止や、飲み方が変わる場合があります。	治療前に点滴を行います。 	治療後に抗生剤の点滴を行います。 	
処置	足の付け根から治療を行うため毛を剃ります。 治療後の脈拍を確認するため、油性ペンで両足に印を付けます。	検査着・T字帯に着替えて下さい。 肌着は着用しないでください。 指輪・義歯は外してください。 	心電図を装着します。 治療終了後、適宜血圧や体温を測ります。 また、出血の有無や点滴等を観察します。	点滴と尿の管を抜きます。 退院までに医師が抜糸をします。
その他	<u>T字帯を準備してください。</u> 外来で渡した治療同意書を提出してください。 	化粧・マニキュアは落してください。 治療後の安静のため、尿管を入れます	医師から治療結果の説明をします。 ※医師からの説明は、治療後すぐにできない場合があります。	パンフレットを使用し、ペースメーカーの注意事項について説明をします。 退院前に診察券や薬、次回予約表等を渡します。 10時～11時頃に退院となります。
ご家族	面会時間に制限があります。	基本的に検査・治療結果は医師から本人に説明します。 必要場合は医師から家族へ電話連絡します。		

予定している入院生活のスケジュールです。予定は変更になる場合があります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに当たって変わる事があります。

注2 入院期間については現時点で予想されるものです。

リードレスペースメーカー挿入を受けられた患者さん

デバイスを植え込み、または入れ替えをした際にできた傷がふさがるまでは、傷口を清潔に保つ必要があります。

傷口にテープを貼ったまま退院する場合

- ・ 次回の外来受診日までテープは剥がさずにお過ごしください。
- ・ もしテープが剥がれてしまった場合は、下記の「傷口のテープを剥がして退院する場合」をご参照ください。

医師の判断で傷口のテープを剥がして退院する場合

- ・ 1日1回は傷口を石鹸やボディソープを泡立てて、泡で優しくなでるように洗ってください。
- ・ 泡を流す際は、優しい水圧の流水でよく洗い流してください。
- ・ 消毒は必要ありません。
- ・ 傷が衣服と擦れて刺激が気になる場合は、大きな絆創膏を貼付してください。



傷の観察をおこないましょう。以下の場合には、速やかに受診してください。

- ・ 傷口やその周囲の皮膚に持続する痛み、発赤、腫れがある。
- ・ 傷口が開いている。
- ・ 傷口から出血や浸出液や膿が出る。
- ・ 発熱、寒気などの症状がある。